

かさかけ 公民館だより

編集
笠懸公民館報編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発行
みどり市笠懸公民館

〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電話：0277-76-2211
FAX：0277-76-2836
Eメール：kouminkan@city.midori.gunma.jp



西鹿田中島遺跡



▲講師の石岡さん

理解を深めよう ピンクリボン運動

みどり市市民講座第3講『ピンクリボン』が11月28日(休)に開催されました。ピンクリボンアドバイザーでがん教育認定講師の石岡江見子さんの講演です。

講師自身37歳で乳がんを発症し、治療後に再発。なぜ2度の乳がんになったのか?と考へ、ピンクリボン活動を行うNPO法人の理事を17年間務めています。現在は乳がんだけでなく、中学校や高校で命の大切さを伝える活動に力を注いでいます。

乳がんは大きく「非浸潤がん」と「浸潤がん」に分類され、非浸潤がんは、

※ピンクリボン運動
乳がんの撲滅、早期検査を啓発・推進するための世界規模のキャンペーン

- しこりの主な特徴
- ・表面はでこぼこしている
- ・動きにくい
- ・押ししても痛くない
- 進行した主な症状
- ・乳房の皮膚がただれる
- ・腋(わき)の下のリンパが腫れる
- ・乳房にえくぼのようなでこぼこができる
- ・乳頭から血の混じった液が出る

ん細胞が乳管内や小葉内にとどまっている早期のがんです。適切な治療を行えば、多くの場合、転移や再発はほとんどありません。乳がんは早期発見が鍵のため、症状を自分で確認することが重要です。予防にはコミュニケーションに参加することが大切のこと。公民館活動をするのも、元気でいる秘訣のようですね。講師から参加者全員にピンク色の今治ハンカチがプレゼントされました。

親子で楽しむ 多彩な体験

一緒に学ぼう

交通ルール

親子ふれあい教室の交通安全教室が10月29日(火)に笠懸公民館で開催されました。講師として警察官を迎え、親子一緒に交通ルールを学びました。

最初は横断歩道の渡り方、信号機の色をアンパンマン

やピカチュウに例えながら説明し、実演まで行いました。お母さんたちにも、子どもの手を離したり目を離したりしないよう、講師は呼びかけていました。

車の乗り方やルールを確認し、交通安全のビデオを見ながら、楽しくおさらいしました。

交通安全教室の最後は、パトカーに試乗。サイレン

を鳴らしてもらうと、子どもたちは大喜び！良い思い出になりました。



▲なんだろう？



笠懸公民館南側の駐車場で11月15日(金)、焼きいもパーティを行いました。

ブロッコで囲んだ中に落ち葉を敷き詰め、持参したサツマイモを入れ着火！一気に燃え上がる火に子どもたちは大興奮。焼き上がるまで手遊びや縄跳びで遊びました。

焼きあがると、公民館



▲ホクホクおいしいね😊

に戻り「もぐもぐタイム」子どもたちは□□ぽんこ

焼きいもをほおばっておいしそうに食べていました。この教室は家庭ではできない経験や体験ができます。ぜひ、子育て中の多くのお母さんお父さん、おじいちゃんおばあちゃんに参加してほしいですね。

※親子ふれあい教室では、事前に消防署へ必要書類を提出。安全に十分配慮した上で焚き火を実施しました。

学ぼう認知症 予防と介護の重要性

高齢者大学第6講「認知症の予防と介護」が11月12日(火)にグンエイホールP.A.L(笠懸野文化ホール)で開催されました。講師は善衆会病院の野原ひとみさん、寸劇を演じる友松幸恵さん、外丸志保さんの3人。

認知症の状況について解説があり、2025年には認知症患者は約700万人、65歳以上では5人に1人の割合になると警鐘を鳴らしました。(85歳以上では2人に1人)

認知症は、いろいろな原



▲寸劇で楽しく学ぼう認知症

因で脳の細胞が死んでしまい、働きが悪くなったために様々な障害が起こる病気。「物忘れ」や「歳のせい」ではないそうです。

認知症の主な症状は「物忘れ」「状況判断ができない」「計算ができない」などで、治すことが困難です。寸劇では「物忘れ」と「認知症」の違いを解りやすく説明していました。

認知症予防のため、生活習慣病(高血圧、糖尿病、脂質異常症)に罹らないよう、青魚や緑黄色野菜を積極的に食べましようとする。そして、水分補給や□腔運動(パタカラ体操)などを紹介。その他、有酸素運動、ボランティア活動などの社会活動参加を推奨していました。

認知症は治すことは難しいが進行を遅らせることが出来る病気。周囲の環境次第で、認知症になっても生き生きと生活が送れます。誰もが安心して暮らしていける環境を皆さんで作りました。

心躍る演奏会

ポニータの響き

ようやく秋めいてきた11月9日(土)の午後、利用者の会主催の「第129回こいの広場」が笠懸公民館1階ロビーで開催されました。今回は「ポニータ」によるマンドリンコンサートです。スペイン語で「かわいい」「美しい」を意味するポニータは、今年で結成60周年。



▲心地よい音色

当日の会場には100人ほどの観客が集まりました。目を閉じて抒情豊かな演奏に聴き入り、感極まった人から「ブラボー！」の声も上がるなど大盛況でした。歌謡曲、演歌、映画音楽等から全13曲が演奏され、『旅愁』『上を向いて歩こう』の2曲は観客が合唱するなど更けゆく秋にぴったりのコンサートでした。

反省と展望 文化祭を振り返る

第3回笠懸地域文化祭実行委員会が11月29日(金)に笠懸公民館で開催され、今年文化祭を振り返りました。来場者は2日間で約4000人、イベント部会の各団体からの寄付は3万4000円だったことなどが報告されました。寄付先は渡良瀬特別支援学校の和太鼓部に。来年の笠懸地域文化祭は10月25・26日に開催することが決定しました。各部会に分かれ反省点な

どを話し合い、全体会で意見を共有しました。主な意見は次のとおり。

- ・参加者が先細りになってきている。参加者が増えるよう考えていく必要がある
- ・準備や片付けに負担の偏りがないよう皆で協力できるようにする
- ・模擬店のテントの張り方、片付けのタイミングなどを考えて欲しい



▲文化祭の様子(ミニトレイン)

文化祭の目的は、日頃の学習成果の発表と参加者同士の交流、地域の人が公民

館活動に興味を持ち参加してもらうことです。企画広報部では、今年の反省を踏まえ、来年度に向けて新たな気持ちで企画を意欲的に考え始めています。

防災を考える

48

災害ボランティア

先日、輪島市での災害ボランティアに参加しました。1月の能登半島地震、9月の豪雨災害と1年に2度の災害に見舞われた能登地方。全壊や半壊した家々、ポツンと更地になった場所など、災害の爪痕が街の所々に見

られました。ライフラインの復旧や仮設住宅など公共の支援も続いています。一軒ごとに二つの違う案件に対応できるのが災害ボランティア。自己責任が原則ですが「被災者中心」「地元主体」「協働」の三原則により進められます。

「まだまだ依頼はたくさんあり、ボランティアや色々な支援が必要。とにかく関心を持ち続けてほしい」と現地スタッフは話していました。



共有しよう

公民館の魅力

利用者懇談会が11月23日(土)に「公民館ってどんなところ? 考えよう、つどよう」まなぶ・むすぶVol.2」と題し開催されました。講師は元桐生市公民館運営審議会会長などを務めた大西康之さん。参加者が公民館を考える機会となりました。

主な内容は、公民館活動、社会教育とは何かということ。日本の歴史から社会教育のあり方を紐とぎ、江戸

時代から社会教育の基盤・庶民教育が行われ、平等やお互い様という考えが醸成されました。

戦後の日本で社会教育・公民館活動が受け入れられたのは、江戸時代からの教育基盤があったからです。それは日本人が世界に誇る教養で、現代社会ではこのような思想が薄れてきています。

分散会は2班に分かれ、講演の感想や公民館の歴史・在り方について意見交換しました。公民館は市民がつくるも

より良い

館報を目指し

笠懸公民館で「新聞づくり研修会」が11月26日(火)に開催されました。桐生タイムス社の記者・高橋洋茂さんを講師に、記事の書き方や書く上でのポイントを学びました。

講義の他に編集ワークシヨップが行われ、過去に館報に掲載された記事を題



▲講師の高橋さん

材に、短く簡潔にする編集

「分散会での主な意見」

- ・時代と共に一番大切な部分が増えている。自分の好きな事だけでなく、互いに交流し伝え合う、学び合うことが大切
- ・若い世代の利用が少ない(次世代へ繋がらない)
- ・子どものうちから郷土愛を育てることで、後々公民館活動に繋がる

ので、市民が生涯学習活動を通して地域づくり・街づくりにつなげていくことが大切な役割となります。

作業を体験しました。

参加者同士で意見を交換し合いながら、自分たちの記事をどのように改善できるかを考える貴重な機会となりました。

今回の研修から、文章表現の技術向上だけでなく、新聞制作に対する理解も深めることができました。

今後もこのようなワークシヨップを継続し、地域愛を伝える記事を書いていこうと思います!

はじめての編み物教室
～アームウォーマーを編んでみよう～

期日 2月1日出・2月15日出・2月22日出
※3回出席が難しい場合はご相談ください。

時間 13:30～15:30

指があいて、つけたまま運転やパソコンの操作ができます。

- ◆会場 笠懸公民館 2階 サークル活動室4
- ◆対象 みどり市に在住・在勤・在学している方
- ◆定員 10人(先着順)
- ◆持ち物 6号かぎ針・とじ針
- ◆申込期間 1月7日(火)～31日(金)
- ◆申込方法 笠懸公民館に電話、メールまたは窓口
①氏名・②住所・③電話番号・④年代を伝えて申込み
- ◆問い合わせ先 TEL: 0277-76-2211
E-mail: kouminkan@city.midori.gunma.jp
※窓口・電話の申込受付時間 9:00～17:00(月曜休館)
- ◆参加費 1,000円(毛糸代)

再始動!!
喫茶ぺちやくちや

笠懸公民館1階にある「喫茶ぺちやくちや」が、みどり市地域活動支援センターつばさの尽力で再開。しばらくは毎週火曜10時30分から14時30分まで、週1回の営業です。

地域の皆様に愛される場所として、再び活気を取り戻しています。

今回、私はエビピラフ(スープ付)とホットコーヒーを注文。ボリューム満点!!スープの優しい味わい

はエビピラフと相性抜群!!ホットコーヒーもカップが温められ、最後まで暖かくいただくことができました。美味しい料理・飲み物と温かい雰囲気が待っています。ぜひ、皆さんも足を運んでみてください。



▲プリプリのエビピラフセット

おいしい農産物 勢ぞろい

第18回農業まつりが、11月9日(土)にJAにつたみどり笠懸野菜出荷所で開催されました。出荷所には農家の人達が丹精込めて栽培したたくさんのお野菜が並んでいました。

野菜の他、果物や玉子、牛乳や牛肉・豚肉も販売。買い物客の列が長々と続き、多くの人で賑わいました。

イベントではカレーと豚汁を無料配布。これは笠懸町婦人会の有志が炊き出し訓練を兼ねて、朝早くから作ったものです。並んだ人たちに配ると、皆おいしいと言いながら食べていました。

へるすぽ開催 楽しみながら健康に

25℃をこす夏日の一日となる中、桐生大学グリーンアリーナ(みどり市民体育館)で11月17日(日)、みどり市スポーツ健康イベント「へるすぽ」が開催されました。誰もが気軽に参加して楽しめるイベントです。室内では各種スポーツ体験(スナッグゴルフ、ボッチャなど)や健康測定などが行われました。パラスポーツ体験では日本代表選手も参加していました。屋外では、観光協会による物品販売や、日本赤十字

奉仕団(笠懸、大間々、東町の3奉仕団が協力)のカレーの炊き出し訓練も行われ500食を販売。売り上げはすべて赤十字に寄付しました。

ぐんまちゃんのふわふわドームでは、子どもたちが楽しんでいました。



▲大人気ふわふわドーム

た。

抽選会で当たった野菜を嬉しそうに持って帰る人たちの姿が、とても印象的でした。



▲ご賞味ください

芸術の秋 にぎわう文化祭

5年ぶりとなる「みどり市文化協会連合会文化祭」が、11月22日(金)から24日(日)で開催されました。

展示部門は笠懸公民館のふるさとギャラリーとロビーが会場。書道、仏画、俳句、写真、花道、パッチワークなどさまざまな力作が並び、来場者の目を楽し

岩宿原人だぞい! 収穫まつり

岩宿ムラ収穫まつりが、11月10日(日)に岩宿博物館東側の「岩宿人の広場」で行われました。

会場では石器作り、まが玉作り、どんぐりパン作り、火起こし、石臼で粉ひき・くるみ割りなどの体験イベントが行われ、多くの家族連れなどで賑わっていました。

弓矢体験では、弓と矢の扱いに試行錯誤しながらも



▲ぺったん♪

古代米の餅つきは、みどもスも一緒になって会場を盛り上げてくれました。体験カードを持っている人には地元のおどりが振る舞われ、心も体も温かくなりました。

ませていました。

最終日の24日(日)はグンエイホールPAL(笠懸野文化ホール)を会場に舞台部門。横町太々神楽からスタートし、南京玉すだれ、舞踊、各種ダンスや和太鼓などバリエーション豊かな演目が、観客を魅了しました。

お楽しみ抽選会も実施され、最後まで盛り上がった3日間でした。



▲すてきな作品にうっとり

町をきれいに

みどり市ボランティア協議会主催のクリーン大作戦が11月3日(日)、鹿の川沿辺で行われました。

たくさんの人たちがあつという間に枯れ葉をかき集めきれいにしました。

また同日、笠懸公民館の周辺でも笠懸町婦人会の会員たちが枯れ葉を大きな袋



▲いつもありがとうございます😊

に詰め込んでいました。みなさんのおかげで気持ちよく過ごせますね。

誕生!!

新たなサークル

笠懸地域文化協会主催の初心者教室が終了しました。今年「写仏」と「フラダンス」、「舞踊」の3つで、9月からそれぞれ全6回の日程でした。

最終回を迎えた参加者から「これからも続けたい」という声が上がリ、それぞれサークルを新たに結成することになりました。写仏は『笠懸ささゆり写佛会』、フラダンスは『プルメリ



▲フラダンス教室の皆さん

ア』、舞踊は『華蕾』のサークル名で、それぞれ既に活動を開始しています。興味のある方は、笠懸公民館までお気軽にお問い合わせください。

コラム 豆電球



『かき入れ時のかき入れって?』

お店でも会社でも、仕事で忙しいと「かき入れ時だね」とか、年末年始や月初月末で忙しくなる「さあ、かき入れ時だね」なんていわれることが多い。

「かき入れ」と聞いて思いつく言葉は「掻き入れ」ではないだろうか。

確かに、11月酉の日に神社などで行われる「酉の市」では豪華に飾り付けた熊手で運を掻き込むといわれているし、関東では10月20日の「二十日恵比寿」、関西では1月10日の「十日戎」などがあり、熊手でお賽銭を掻き入れるとされているようだ。だから、何かを掻き集めるという意味で「掻き入れ時」だと考えている人が多いはず。

しかし、正しくは「掻き入れ時」ではなくて「書き入れ時」だ。運やお金を掻き入れるのではなく、帳面に書き入れる時、ということになる。忙しいと、あれこれと帳簿に書き込まなければならぬものも増える。そのため、忙しい時期を「書き入れ時」というようになったわけだ。

最近ではパソコンやスマホの普及率が高くなったので「打ち入れ時」になってもおかしくないのだろうか。

古典の世界へ

ようこそ

中学校で学ぶ古典文学をより深く楽しむ講座「古典世界へのいざない」が11月24日(日)、みどり市大間々図書館で開催。講師はみどり市立東中学校の元校長・三ツ屋雄一さんで、およそ20人が参加しました。

万葉集からは額田王、大津皇子、中大兄皇子にまつわる恋愛模様。奥の細道からは、判官眞眞の所以や松



▲講師の三ツ屋さん

尾芭蕉は西行好きの押し活動!といった学校では学べないマニアックな内容に聞き入っていました。

また、枕草子をNHKの大河ドラマ「光る君へ」とリンクさせ、わかりやすく語って終了となりました。

こえの ひろば

このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。(しめきり毎月10日)

上毛かるた⑤

御朱印レディー

分福茶釜の茂林寺

茂林寺は室町時代の1426(応永33)年に開かれました。

この寺の守鶴という年老いたお坊さんが持つて来たという茶釜は、お茶の温かさを「福」として、この茶

釜は人々に福を分けるといわれしました。そのことから「分福茶釜」と名付けられたといわれています。今でも大切な宝物として展示されています。

明治時代の文学者、巖谷小波は、お寺に伝わる話をもとに童話を書きました。

守鶴はたぬぎの化身だったと言われ、161年お寺につかえていましたが、ある時、寝ている間に正体を現してしまいます。正体を見られた守鶴は、茶釜を残して去っていったと伝えられています。

▲茂林寺の御朱印

参道には、たぬぎの像が21体並んでいます。近くに住む住民たちが訪れた人に楽しんでからおくと、たぬぎの像は季節ごとに衣替えをしています。
御朱印は書き置きでした。



テクテクお城歩き(53)

青柳城址 歩遊人

日本100名城ではないが、稀有な石垣の積み方の青柳城址を歩いてきました。長野県筑北村の四阿屋山(標高1387m)の支尾根の先端にある山城です。

資料によれば、この地の麻績氏一族である青柳氏の居城といえます。定かではありませんが建暦年間(1211~13年)に青柳氏によって築城。1553(天文22)年の第一次川中島合戦では、上杉謙信の軍勢によって放火されるなど多くの合戦の舞台になったようです。武田氏が滅亡すると城主・青柳頼長は上杉景勝に従います。



▲復元された楼門

1587(天正15)年、青柳頼長は小笠原貞慶に深志城(のちの松本城)で謀殺。その後は小笠原氏の家臣松林氏が在番となりますが、慶長年間に廃城になったようです。

現在は青柳城址公園として整備され、城門などが復元。尾根を巧みに利用し曲輪、堀切、堅堀などの遺構が残っています。模擬櫓門

から約400m、冠木門をくぐると天守に着きます。ここに小笠原貞慶時代の布目積(石の線が横に通っているような積み方)の石垣があります。平たい長方形の形をした石が積み重なっているのが特徴的です。

天守からの眺望は素晴らしい、遠くに北アルプスの峰々。そして、指呼にピラミダルな冠着山(標高1252m・別名姨捨山)や鉄塔が林立する聖山(標高1447m)等が望めます。

眼下には善光寺街道の青柳宿があり、江戸時代の風情を残しているのは是非とも散策をお奨めします。そして、天守で三角点を見つけました。調べてみると三等三角点で標高905mでした。

笠懸短歌サークル

十一月例会より



日常の歩みは夫に寄り添ふも店での買物ひとり小走り娘よりラインがとどく秋の日に第二子生まれるうれしい知らせ森の霧樹間に流れはれやらず蔦の紅我が目はなれず
実印をペタペタ捺して七十年の法人一つを終焉となす
まだ履けるスリッパなれど買ひかへて気分転換はかるか妻は
上村 征子
加藤 康子
久保田 茂子
関口 定夫
平山 勇

かさかけ どうぶつ家族 ⑪ ハマジくん (4区)

お家がヘアサロンを経営するハマジくん。6年前、どうしても欲しいと懇願する娘さんに、ちゃんと育てられるかどうかお試して生家からお預かりしました。ところが、その晩から緊張のせいがおしっこが出なくなり…。野外のドッグランなら出るかもしれないと連れて行ったところ、意外にすばしっこいハマジくん。ちょっと目を離れた隙に穴を掘ってそこから脱走してしまいました。



▲ハマジくん

当時就学前だった娘さんは大号泣。家族全員で必死に探しましたが見つかりません。「ハマジー、ハマジー」と連呼して探し続け、二日

あなたも家族(ペット)を紹介しませんか!?

募集対象 犬・猫・小動物など、どんな種類の動物でもOK
※品種や飼い主名等は掲載しません。

【留意点】
・編集協力員による対面取材後、紙面へ掲載します。
・次号以降のお友達の家族(ペット)の紹介にご協力ください。
・在住区域(行政区等)を掲載させていただきます。

【応募方法】
飼い主の氏名・連絡先・家族(ペット)の情報を電話またはメールで笠懸公民館までお伝えください。
☎0277 (76) 2211
✉kouminkan@city.midori.gunma.jp

QRコード

後ようやく警察に保護。家族は大歓喜の渦につつまれ、そのままハマジくんを「家族」に迎えました。

名前は生家が仮で付けていたもの。お迎えするにあたって新しい名前も考えましたが、声が枯れるまで何度も呼んだ名前をそのままにしました。ちなみに生家のお母さんはマルちゃん、妹はタマちゃんだそうです。生後7か月で大冒険をしたハマジくん。今ではお母さんにベツタリ、お家の敷地から勝手に出ることは決してないそうです。

四季の会 十二月句会



陽が落ちて十二月の日陰かな
カラス鳴き悪しき夕べや年の暮れ
冬の宵ピアノ弾く児の溜め涙
老犬と並んで楽し日向ぼこ
主なき家を守るや花八手
妹を待つ昼餉の用意木の葉雨
手鏡に少女の夢よ冬の月
冬ざれや犬の散歩は庭の中
畦道を子らは通学息白し
惜しまるる別れは急に冬もみぢ
鴟びより海は白波小波たつ
冬晴れや乾杯の杯高々と
戸締まりの手を止めさせし冬夕焼
山並みの冬の東雲凜として
兜煮の目玉くるりと冬の夜
煙突の煙の白き炉端の火
少女らの白きソックス冬日和
門灯の低く灯りて冬に入る
木枯しの空を見上げる猫と居り
煮込みうどん夫が作る冬の夜
木枯しや重き石うす転がせり
どこんちも大洗濯の冬日和
山茶花の垣根にピアノ音流る
陶火鉢いまはお店の飾りもの
鉢植えの誉めて育てよ冬の梅
欲しきもの買うて合わぬや年の暮れ
湯の中で豆腐が踊る夕ご飯
歩く人走る人居り冬の川
山茶花の紅ほろほろと祖母の忌来
新鮮な魚市場の師走かな
冬の夜夫の介護を懐かしむ
ざわざわと風の騒ぎか鴟猛る
野仏の頭上旋回冬の蝶

- 中村 富喜女
- 吉野 源五郎
- 中野 千鶴
- 泉 純佳
- 川道 ひさ女
- 国木 美代香
- 江原 麗華
- 宇野 椿
- 細川 由桂
- 中村 祐月
- 櫻本 千春
- 細川 和勤
- 佐藤 由美香
- 江原 大樹
- 高野 春蝶
- 江原 隆鍼
- 高野 光詢
- 横倉 雅
- 糸井 梅光
- 前原 紫蘭
- 宇野 順雪
- 楮沢 春蘭
- 糸井 初音
- 小林 狐一
- 石原 青蓮
- 小林 華笑
- 徳田 夕子
- 新羅 光海
- 韓 百日紅
- 宇野 由希子
- 村田 小町
- 宇野 勘大
- 金 光月

ちょっと一息



年齢を重ねるごとに、1年が早く感じられるようになりませんが、その中には様々な出来事や感動が詰まっています。

振り返ってみると、パリ五輪では、日本人選手たちが活躍し、多くのメダルを獲得しました。また、野球界でも大谷翔平選手が前人未到の50本塁打・50盗塁を達成し、その活躍が日本中を席捲。日本のプロ野球でも3位の球団が日本一を達成し注目を集めました。

地元の笠懸では、笠懸小学校が創立150周年を迎え、記念式典が行われました。明治7年に開校され、令和4年度の笠懸西小学校の分離新設まで、大規模校として多くの卒業生を輩出してきました。この節目の年に、歴史と伝統を感じる事ができました。

今年はどんな1年になるのか楽しみですよ!!そして今年も「かさかけ公民館だより」で、皆さんに地域の情報をお届けしていきます。

(熱盛)